

大原農業研究所
創立滿十五年記念

農林學大集會

一、記念式及大集會の概況

第一日

昭和四年七月六、七日の兩日に亘り大原農業研究所創立滿十五年記念日を機として倉敷市に於て農學會、札幌農林學會、日本農藝化學會、土壤肥科學會、林學會、日本畜産學會、農業經濟學會、日本作物學會、園藝學會、東京昆蟲學會、日本植物病理學會、水産學會、關西病蟲害研究會の十三學會の聯合臨時大集會を開催せり。七月六日は大原農業研究所創立滿十五年記念日に當れるを以て、此日午前九時同研究所に於て記念式を舉行し、農林學大集會參加の會員にして右記念式に列席せられしもの凡そ四百名を算せり。記念式後一同研究所内を巡覽し終りて新溪園に於ける大原氏招待會に臨みたり。

七月六日午後一時開會、倉敷基督教會堂にて農林學大集會を催し、特別講演を聽きたり。今回の聯合大集會準備委員長たる近藤萬太郎氏司會す。特別講演の演題左の如し。

記念式及大集會の概況

一、林業の基調

林學博士 市河三祿

二、稻の灌漑水の温度に就きて

農學博士 吉川祐輝

三、合理的施肥法に就きて

農學博士 麻生慶次郎

四、微のアルコール醱酵と成酸醱酵

農學博士 高橋偵造

右特別講演を午後五時に終り同日夜七時より倉敷市旭町小學校講堂に於て通俗講演會を開催せり。會衆三百名にして春川忠吉氏司會したり。十時半に閉會す。講師及演題次の如し。

一、鮎の話

理學博士 石川千代松

二、産業組合中央金庫と道府縣を區域とする信用組合聯合會との關係に就きて

農學博士 佐藤寛次

三、本邦へ渡來の外國樹木に就きて

林學博士 白澤保美

右にて第一日の日程を盛會裡に終りたり。

第二日

七月七日午前八時閉會、參加學會を四部に分ちて倉敷市旭町小學校に於て研究發表を行ふ。講演者の數は百二十餘名に上り極めて盛會なり。

午後五時に各部會の講演を終りて會自一同六時新溪園に於ける倉敷市長招待會に臨みたり。

午後八時倉敷市旭町小學校講堂にて農林中央協會を開催す。西門義一氏司會し會衆四百名なり。午後十一時閉會。

前二日間にて學會を終りて七月八日見學を行ひたり。午前には倉敷紡績會社萬壽工場、勞働科學研究所、高粱川用水組合配水施設、及び倉敷中央病院等を見學す。之に参加せる會員凡參百名なり。

午後は四班に分ちて岡山縣兒島灣藤田組農場、岡山縣立農事試驗場、同園藝部、岡山縣立高松農學校、岡山縣淺口郡里庄村に於ける砂防工事等を視察し午後五時岡山後樂園にて解散し以て今回の大會を終了せり。

二、記念式の祝辭

七月六日午前九時大原農業研究所創立滿十五年記念式を同所前庭にて舉行したるが來賓四百五十名の出席ありたり。設立者大原孫三郎氏の式辭に次ぎて文部文臣小橋一太氏(麻生博士代讀)、農林大臣町田忠治氏(鷲津農林技師代讀)、岡山縣知事香坂昌康氏(坂本内務部長代讀)、帝國學士院長學術研究會議會長櫻井錠二氏(吉川博士代讀)、東京帝國大學總長小野塚喜平次氏(岩住博士代讀)、京都帝國大學總長新城新藏氏、九州帝國大學總長大工原銀太郎氏(植村博士代讀)、北海道帝國大學總長男爵佐藤昌介氏(星野博士代讀)、鳥取高等農業學校長山田五太郎氏、諸學會代表園藝學會長原勲氏、岡山縣立農事試驗場長熊切茂雄氏、倉敷市長代理助役平松俊太郎氏、前所員京都帝國大學教授大杉繁氏の祝辭ありたり。

大原孫三郎氏式辭 (概要)

私は所有土地に就きましては地主と小作者とは協同關係にあるものと思ひましたので其意味を以て明治四十年以來農